

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-540	24-048	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
A polygenic risk score for alcohol-associated cirrhosis among heavy drinkers with European ancestry 欧州起源の多量飲酒者におけるアルコール性肝硬変のポリジェニックリスクスコア		
<b>執筆者</b>		
Schwantes-An TH, Whitfield JB, Aithal GP, Atkinson SR, Bataller R, Botwin G, Chalasani NP, ほか; GenomALC Consortium.		
<b>掲載誌</b>		
Hepatol Commun. 2024 May 10;8(6):e0431. doi: 10.1097/HC9.0000000000000431. eCollection 2024 Jun 1.		
<b>キーワード</b>	<b>PMID</b>	
ポリジェニックリスクスコア、肝硬変、多量飲酒	38727677	
<b>要旨</b>		
<b>背景:</b> ゲノムワイド関連研究からのポリジェニックリスクスコア (PRS) は、多くの疾患のリスク層別化に役立っている。アルコール性肝硬変 (ALS) における SNP を肝線維化/肝硬変のない飲酒者と比較することにより、アルコール性肝硬変の PRS を開発した。		
<b>方法:</b> ALC 患者(4305 例)と、ALC ありおよび肝疾患無しの多量飲酒者 (3037 例) の別コホートのメタゲノムワイド関連研究を用いて、ALC の PRS を作成した。UK バイオバンクの ALC 患者 (467 例) と高リスク飲酒者 (8981 例)、インディアナバイオバンク肝臓コホートの肝疾患 (121 例) および肝疾患無しの対照 (3239 例) を用いて妥当性を検討した。		
<b>結果:</b> ALC の 20 の SNP からなる PRS (PRSALC) が作成され、2 つの妥当性コホートにおいて、最大 10 分位と最小 10 分位とで、オッズ比 2.83 (UK バイオバンク)、オッズ比 4.40 (インディアナバイオバンク) を認めた。インディアナバイオバンクでは、代謝性脂肪肝硬変のリスクも予測した (オッズ比 3.94)。		
<b>結論:</b> 20 の SNP による PRSALC は、ALC リスク上昇を予測した。このスコアは、多量飲酒者の肝硬変高リスク者の発見に役立つ可能性がある。		